

2006年12月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 鈴木 弘治
 コト番号 8233

2006年11月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

株高島屋計	分社4店含む実質
△0.7	△0.5

11月度は百貨店事業が前年売上実績をクリアしたが、広域事業が低迷し、分社4社含む実質では△0.5%と前年実績を下回った。

※分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
△0.1	+0.1

前年に比べて暖かな気温の影響等により婦人服や特選衣料雑貨等が伸び悩んだが、お歳暮の早期承りが奏効した食料品や婦人雑貨が好調に推移した。18店中では9店が前年売上実績をクリア。18店計の売上は+0.1%で、14ヵ月連続で前年実績を上回った。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	△3.4	+0.9	+3.5	△2.2	+4.2	△0.9
入店客数	△4.5	+0.6	+2.8	△3.1	△8.2	△2.7

※大阪店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

※大阪店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+3.7	+1.5	△3.7	+0.8	△3.0	△3.7	△0.4	+7.0
入店客数	△1.6	△3.0	△6.4	△3.1	△4.4	△7.2	△2.5	+3.4

※横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

※横浜店の入店客数は単店になります。

関西地区では、9店中の4店が前年売上実績を上回ったが、地区計の売上は△0.9%で前年実績に至らなかった。主力の大阪店は婦人雑貨等が前年実績をクリアしたが、特選衣料雑貨や婦人服、食料品等の主力商品群が伸び悩んだ。京都店はリニューアルで強化したレストラン街や食料品等が売上を伸ばし、4ヵ月連続で前年実績をクリア。泉北店はリニューアル効果が持続する婦人服や婦人雑貨が好調で3ヵ月連続で前年実績を上回った。

関東地区では、9店中の5店が前年売上実績を上回り、地区計の前年対比は+0.8%となった。

東京店では呉服が伸び悩んだが、紳士・婦人のファッション商材をはじめ、リビング、食料品等が前年実績をクリア。横浜店も食料品や婦人雑貨等が売上を伸ばし、婦人服、特選衣料雑貨等の低迷をカバーした。新宿店は食料品のほか、リニューアルした呉服が前年から2桁売上を伸ばしたが、婦人服、特選衣料雑貨等が伸び悩み、前年実績に至らなかった。その他、高崎店は食料品のリニューアル効果が大きく、前年実績を上回った。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	△7.4	△8.2	△7.7

法人事業は企業向けの販促品等で新規物件の獲得はあったものの、前年実績のある物件の中止や規模縮小等により前年売上実績には至らなかった。通販事業は婦人雑貨、宝飾・貴金属等に動きが見られたが、冬物商材の衣料品、食料品等が低調で前年実績を下回った。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	株高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	△2.1	△1.8
婦人服・洋品	△2.7	△2.3
子供服・洋品	△0.7	△0.8
その他衣料品	△2.8	△2.8
衣料品計	△2.4	△2.1

	株高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	△0.6	△0.2
家具	△5.9	△6.4
家電	+9.0	+9.6
その他家庭用品	+0.8	+1.3
家庭用品計	△0.4	△0.1

	株高島屋計	分社含む実質
食料品	+3.3	+3.6
食堂・喫茶	+9.2	+7.7
雑貨	△5.8	△5.9
サービス	+0.1	△0.5
その他	+3.1	+3.1
合計	△0.7	△0.5

〈当社分類による百貨店事業の商品別概況(臨時・特注を除く)〉

紳士服(前年対比△0.7%)は、アウターアイテムではコートやダウンに動きが見られたが、ジャケットやインナーアイテムのセーターは低迷した。婦人服(同△2.8%)ではトレンドアイテムのワンピース、ロングコートが好調な反面、主力のジャケット、スカートが伸び悩んだ。婦人雑貨(同+3.6%)では防寒アイテムの帽子や手袋、マフラー等は低迷したが、ロングブーツが好調な婦人靴、化粧品、婦人アクセサリー等の主要アイテムは順調に推移した。そのほか、美術(同+9.1%)、食堂(同+7.9%)、食料品(同+3.6%)が前年実績を上回り、スポーツ(同△5.8%)、呉服(同△5.6%)、宝飾品(同△4.4%)、特選衣料雑貨(同△4.1%)等は前年実績に至らなかった。